

さぼう早川

発行・連絡先／国土交通省関東地方整備局 富士川砂防事務所 早川出張所

〒409-2713 南巨摩郡早川町保1227 TEL0556-45-2319

http://www.ktr.mlit.go.jp/fujikawa/ (Eメール) fujikawa@ktr.mlit.go.jp

平成24(2012)年

10月発行
(vol. 73)

「キャンプ砂防」を開催しました
将来を担う砂防技術者養成を目的として！

富士川砂防事務所は、九月三日(月)から七日(金)まで将来を担う砂防の土木技術者育成の場として、「キャンプ砂防 in 富士川」を開催しました。

今年度は、一名の大学生が参加され、「土砂流出の著しい富士川流域の暮らしを守る南アルプスのSABOを学ぶ」をテーマに、過去の被災地の現地調査・災害体験談の聴講をはじめ、現在の砂防事業の状況・地域産業と砂防の関係する現場や地域の人々とのふれあいを通じて、砂防事業への理解を深めていただきました。

九月四日には、早川町長の講義を、キャンプ生と事務所長ほか6名の職員で受講しました。

辻早川町長の
講義



春木川にて
現場の厳しさを
体験



現場にて熱心に説明を
聞くキャンプ生



本村バイパスの進捗状況について(雨畑川)

平成二十四年三月末に本村地区にて工事説明会を実施致しました「本村バイパス」の工事進捗状況をご報告します。本村バイパスは、昨年9月に来襲した台風の影響により流失した為、富士川砂防事務所にて復旧工事を行っております。

工事は「近藤工業株式会社」が二区間とも受注し、土地関係者などご協力により、施工の承諾や立木伐採が行われ、本年六月の台風四号による堆砂土砂の除去後、八月上旬に本格着工となりました。

復旧するバイパスは、雨畑川の土砂とセメントを混合して、固めて道路を造る工法にて行うと共に、路盤の高さを上げることで、以前より災害に強い道路に整備いたします。現在、年内完成を目指し工事を進めております。県道の大型車等の通行や、騒音、振動などご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。



《本村バイパスの復旧状況》

富士川砂防塾 開催

今年、山梨県内に甚大な被害をもたらした、昭和五十七年災害から三十年目の年です。

近年、全国的には、気候変動の影響により集中豪雨は増加傾向にあります。また、数年毎に全国のいづれかで大規模崩壊が発生しています。

今年六月に上陸した台風4号は、梅雨前線を刺激し、全国各地に多大な被害をもたらしました。

当事務所では、住民の皆様へ、土砂災害から身を守るための知識や、砂防事業への理解を深めていただくことを目的に、講座と現地見学をセットにした「富士川砂防塾」を年3回開催しています。

九月二十九日には早川町民会館にて、「最近の土砂災害と住民の警戒避難について」と題し、財団法人 砂防フロンティア整備推進機構 理事 坂口哲夫氏の講義と共に春木川の崩壊地と砂防施設の現地見学を行いました。

みなさま方の防災意識の向上の現れか、四十五人の人達に参加していただき、熱心に講義をお聞きになる姿が見受けられました。

「富士川砂防塾」は毎年この時期に行っております。専門家の講座や実際の現場を間近で見学できるチャンスですので、次回も多くの参加者をお待ちしております。



辻早川町長



講義風景

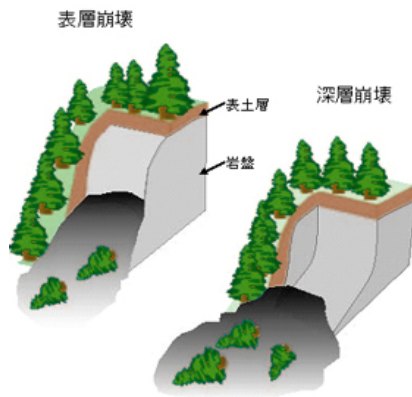


坂口哲夫氏

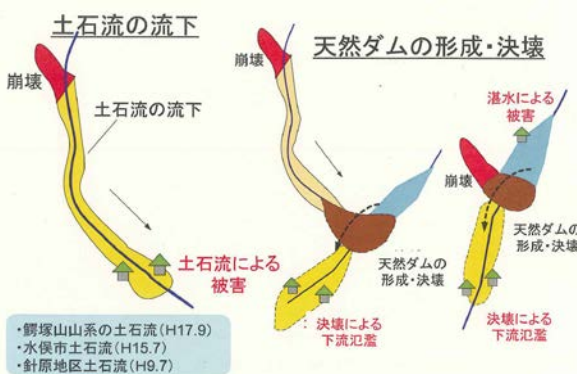
ズーム 深層崩壊について

深層崩壊とは、表土層だけでなく、深層の地盤までもが崩れ落ちる現象で、平成十三年から平成二十二年の十年間で全国で三十一件の発生を確認しています。毎年概ね千件程度発生している土砂災害全体と比べれば、深層崩壊の割合は低いですが、ひとたび発生すると大きな被害を及ぼす恐れがあります。

早川町においても、深層崩壊の危険性が高い地域は静岡県境付近や雨畑川・春木川流域に集中していて、大規模な山崩れで下流域の民家に危険が及んだり、土砂が河川をせき止める「天然ダム」の発生も想定されます。



深層崩壊に起因する土砂災害



- ・駒塚山系の土石流(H17.9)
- ・水俣市土石流(H15.7)
- ・針原地区土石流(H9.7)

役場からの防災情報に注意して、避難勧告や避難指示の案内があったら迷わずに避難しましょう。早めの避難が大切です。